《その４》　風呂は溜め桶

おら家のじんつぁんなれ、お祝儀振舞（祝いの宴会）に招ばれて行ったんだよ。

りっぱな紋付袴着てや、お祝儀のあった親戚の家まで行ったんだよ。

家では、子どもたちなんか、じんつぁん、何もってかえってくっぺや、って、待ってるんだよ、子どもたちなんか、うんとたのしみにしてや。

塩引きだの、蒲鉾だの、あと、なにか漬けたものなど、包んでもらって帰ってくんだったと。それを楽しみにして、みんなで待っているんだと。

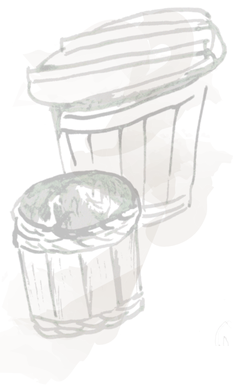
ところが、いつまでたっても来ないと思って待っていたらや、紋付袴を糞だらけにして、鼻歌なんか歌って来たんだと。

「あらぁ、なんだべ」

って、聞いてみたれば、じんつぁんが言うには、きれいな女の人に連れていかれて、風呂さ入れられたんだってや。その風呂が肥溜めだったのしゃ。

土産もなにも取られて糞だらけになって帰ってきたんだよ。

「おれ、洗うのおどけでなかったやあ。臭いべし、汚ねえべし、ほんとにおどけでなかったでやあ」

って、ばんつあんが泣いてたのを、おれ、覚えているよ。

ついこの間まで、そんなことが、ほんとにあったんだよ、ほんとの話だよ。